

大腸癌研究会プロジェクト
『pT1 大腸癌のリンパ節転移の国際共同研究』

- 研究 1 (日米共同) pT1 大腸癌における「内視鏡摘除後の追加治療の適応基準 (大腸癌治療ガイドライン)」の検証とリンパ節転移リスク算出 tool の作成
研究 2 (日英共同) pT1 大腸癌のリンパ節転移のリスク因子に関する研究 (Formula One Study)

第 7 回会議議事録

2019 年 7 月 4 日

浜松町コンベンションホール 6F 大会議室 B

■出席者【50 音順】

- 委員長 防衛医科大学校外科：上野 秀樹
- プロジェクトアドバイザー 兼国際共同研究の研究責任者：杉原 健一(欠席)
- 委員：秋元直彦(代：星本相理)、味岡洋一(代：杉野英明)、池松弘朗、石黒めぐみ(欠席)、上野雅資(欠席)、浦岡俊夫、應田義雄(欠席)、岡志郎、奥山隆(欠席)、勝又健次、金光幸秀(代：森谷弘之介)、河内洋、桑井寿雄、小嶋基寛、小林 望(代：今野真己)、小林宏寿、小森康司、斎藤彰一、齋藤裕輔(欠席)、斎藤豊、坂本一博(代：杉本起一)、島崎英幸(欠席)、菅井有、関根茂樹、高松学、田中信治、鶴田修(代：大内彬弘)、富樫一智、内藤剛(代：大沼忍)、永田信二、中村好宏(欠席)、石原聡一郎、藤盛孝博(代：市川一仁)、堀田欣一、松下弘雄、松田健司、山田一隆(代：田中正文)、山田真善、山野泰穂、梶原由規(事務局)、オブザーバー30 名

■会議内容

1. 研究 1 (Nomogram study) の進捗状況の報告

(1) 解析可能データについて

27 施設から集積した症例のうち、研究計画における適格症例が 6212 例であることが報告された。このうち、簇出、SM 浸潤距離等の欠損値がない 4726 例を主解析の対象集団とすることが提案され、承認された。

(2) 解析結果について

T1 大腸癌に対する大腸癌治療ガイドラインの妥当性の検証およびリンパ節転移リスクの nomogram について、暫定的な検討結果が提示された。

2. 研究 2 (F1 study) の進捗状況の報告

集積された症例うち 50 例 (本邦 25 例、英国 25 例) を interobserver study 用のデータセットとして web 上に準備完了したことが報告された。英国との web での評価要領について最終確認ができ次第、近日中に interobserver study を開始することが報告された。

3. その他

研究 1 について、大腸癌治療ガイドラインの検証結果については研究 1 事務局の岡委員が、ノモグラム解析結果についてはプロジェクト事務局が論文化を担当することが承認された。また、副次的解析について、有効症例集積数に応じて参加施設で検討を進めることが確認された。

事務局にて臨床試験登録プラットフォームへの登録準備を進めることが報告された。